臨床調査個人票

新規	更新

081-1 先天性副腎皮質酵素欠損症

(先天性リポイド過形成症)

■ 行政記載欄									
受給者番号		判定結果	□ 認定	□ 不認定					
■ 基本情報									
姓 (かな)		名 (かな)							
姓 (漢字)		名(漢字)							
郵便番号									
住所									
生年月日	西暦 年	月	H	*以降、数字は右詰めで記入					
性別	□ 1. 男 □ 2. 3	女							
出生市区町村									
出生時氏名	姓 (かな)	3	名 (かな)						
(変更のある場合)	姓 (漢字)	3	名(漢字)						
	□ 1. あり	2.なし] 3. 不明					
	発症者続柄								
	□ 1.父 □ 2. †	<u>D</u> .	□ 3.子	□ 4. 同胞(男性)					
家族歴	□ 5. 同胞(女性)	□ 6. 祖父(ク	义方)] 7. 祖母(父方)					
3000 Control of the c	□ 8. 祖父(母方) □ 9. 祖母(母方) □ 10. いとこ								
	□ 11. その他 *11 を選択の	場合、以下に記力	(
	続柄								
発症年月	西暦 年	月							

社会保障							
介護認定		□ 1. 要	介護	□ 2.要	支援	3.	なし
要介護度		_ 1	_ 2		3	<u> </u>	<u> </u>
生活状況							
移動の程度			き回るのに問題 たきりである	はない	☐ 2. V	くらか問題ス	がある
身の回りの管	管理	_	面や着替えに問 分でできない	見はない	☐ 2. V	くらか問題だ	がある
ふだんの活動	功		題はない うことができな	211	☐ 2. V	くらか問題ス	がある
痛み/不快原	戍	□ 1.な	٧١	□ 2. 中	程度ある	3.	ひどい
不安/ふさき	ぎ込み		題はない どく不安あるV	いはふさぎ込ん		程度	
■ 診断基準に 診断(新規)	関する	項					
□ 1. 先天性!	リポイト	過形成症		2.3β-7	水酸化ステロク	イド脱水素酵	素欠損症
3.21-水酸				_	-水酸化酵素欠		.,
	酸化酵	素欠損症			オキシドレダ		DR)欠損症
A. 主要所見							
	身長			cm	体重		. kg
理学所見	脈拍		Ī	回/分	体温		
	拡張其	用血圧 [m	mHg	収縮期血圧		mmHg

	診断日	Ī	西暦					年			月				日		
		乳力低下、体重増加不良、嘔吐、脱水、意識障害、 ョックなど										1. あ	り		2. 7.	l l	
之	2. 皮膚	色素	全身のびまん性色素沈着									1. あ	り] 2. 7.	2L	
主症状 沈			口腔粘膜、口唇、乳輪、臍、外陰部に 強い色素沈着								1. あ	り		2.7	2L		
	3. 女性	女性型外性器								□ 1. あり □ 2. なし					2L		
	その他	Ĺ										□ 1. あり □ 2. なし					2L
	<u> </u>	あり *	1 の場合	合、以	大下よ	り選	択] 2.	な	L			3	. 不明	
合併症	□ メ	タボリッ	クシン	ノドロ	コーノ	7				」	善尿%	病				高血圧	
	□脂	質異常症				骨量	低下	•] 俏	粗	鬆症					
B. 検査所見	*小数点	も1文字と	して記	入する	క												
	£1.	☐ 1. ð	っり			[2.な	L								
1. 副腎皮質の腫	車大	検査 年月日	西曆	17				左	F.			月			月		
		□ 1. あ	っり			[2. な	l								
2. 血漿 ACTH 高	値	検査 年月日	西曆	Š				左	F.			月			目		
		基礎値						pg	g/mL	基注	準値						pg/mL
		☐ 1. ð	っり			[2.な	L								
3. PRA 高値 検査					目												
		基礎値					ng	g/mL/	hr	基注	 準値					ng	:/mL/hr
4. 尿中ステロイド プロフィルに 1. あり 2. なし							3.	. 未須	実施								
おけるステロイド 代謝物の全般的 低下					F [月			日						
		1. t	o b			[2. な	l				3.	. 未須	実施		
5-1. 低ナトリウ 血症	ウム	検査 年月日	西曆	ŧ.				自	F			月			月		
		ナトリ ウム					mE	Eq/L		基注	準値					mE	Q/L

	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未実施							
5-2. 高カリウム 血症	検査 西暦 □	年	Д □ □ □ □							
	カリ ウム	mEq/L 基準	值							
C. 遺伝学的検査										
染色体検査の実施	□ 1. 実施 □ 2. 非実施									
	□ 1. 実施 □ 2. 非実施									
遺伝子検査の実施	Steroidogenic acu	ute regulatory protein	(StAR) 変異							
	□ コレステロール側	鎖切断酵素(P450scc)遺	遺伝子(CYP11A)変異							
D. 鑑別診断(新規)										
以下の疾病を鑑別し、 除外できた疾病には✓		1.全て除外可	2. 除外不可 3. 不明							
□ 1. 先天性副腎低形	成症	☐ 2. ACTH 不応症								
□ 3.21-水酸化酵素欠損症 □ 4.3 β 水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症										
□ 3.21-水酸化酵素	欠損症	4.3β水酸化ス	テロイド脱水素酵素欠損症							
3.21-水酸化酵素/ < 診断のカテゴリー >	欠損症	4.3β水酸化ス	テロイド脱水素酵素欠損症							
<診断のカテゴリー>	欠損症 全て除外可で、A1~3 と1		テロイド脱水素酵素欠損症							
< 診断のカテゴリー> Definite: Dが全		B1 を全て満たす	テロイド脱水素酵素欠損症							
< 診断のカテゴリー> Definite: Dが全	さて除外可で、A1~3 と1 さて除外可で、A、B、C	B1 を全て満たす	テロイド脱水素酵素欠損症							
<診断のカテゴリー> □ Definite: Dが全 □ 非典型例: Dが全	さて除外可で、A1~3と1 さて除外可で、A、B、C	B1 を全て満たす	テロイド脱水素酵素欠損症							
<診断のカテゴリー> □ Definite: Dが全 □ 非典型例: Dが全 □ いずれにも該当し	さて除外可で、A1~3と1 さて除外可で、A、B、C	B1を全て満たす こを組み合わせて診断	テロイド脱水素酵素欠損症							
<診断のカテゴリー> □ Definite: Dが全 □ 非典型例: Dが全 □ いずれにも該当し	さて除外可で、A1~3と1 さて除外可で、A、B、C	B1を全て満たす こを組み合わせて診断	テロイド脱水素酵素欠損症							
<診断のカテゴリー> □ Definite: Dが全 □ 非典型例: Dが全 □ いずれにも該当し	さて除外可で、A1~3と1 さて除外可で、A、B、C	B1を全て満たす こを組み合わせて診断	テロイド脱水素酵素欠損症							
	さて除外可で、A1~3と1 さて除外可で、A、B、C	B1を全て満たす こを組み合わせて診断	テロイド脱水素酵素欠損症							
<診断のカテゴリー> □ Definite: Dが全 □ 非典型例: Dが全 □ いずれにも該当し	さて除外可で、A1~3 と1 さて除外可で、A、B、C ない 記すべき事項など *250	B1を全て満たす こを組み合わせて診断	テロイド脱水素酵素欠損症							

投与量										
投与歴		約			年					
BMI										
■ 重症度分類に	二関する事項	ĺ								
1. 「血中コルチゾールの低下を認める」: 血中コルチゾール基礎値 4μg/dL 未満					1. 該当	2. 非該当	□ 3. 不明			
2. 「負荷試験への反応性低下」: 迅速 ACTH 負荷 (250μg) に対する血中コルチゾールの反応 15μg/dL 未満)		1. 該当	2. 非該当	3. 不明		
3. 「何らかの副	3. 「何らかの副腎不全症状がある」						1. 該当	□ 2. 非該当	□ 3. 不明	
□ 特徴的 ²	な色素沈着		□ 半	年間	引で 5%以上	_の	体重测	咸少 🔲	低血圧	
□ 脱毛	□ 脱毛 □ 低血糖症状								消化器症状(悪	心、嘔吐など)
□ 精神症 ^½	犬(無気力、	嗜眠、	不安な	ど)					関節痛	
□ 過去14	手間に急性	削腎皮質	不全症	状に	半う入院	歴力	ぶある		その他	
4. 「ステロイド	を定期的に	補充して	いる者	<u>ב</u>				1. 該当	□ 2. 非該当	□ 3. 不明
■ 人工呼吸器	二関する事項	〔(使用	者のみ	記入	.)					
使用の有無	□ 1. あり)								
開始時期	西暦	香								
離脱の見込み	□ 1. あり									
任业	□ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器									
種類	□ 2.鼻▽	2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器								
# - /-/-/15\>-	1. 間夕	(的施行		[2. 夜間	別に	継続的	的に施行		
施行状況	□ 3. → □	中施行		[4. 現在	主は	未施征	· 宁		
		1 NEI1			r. 5m-	T10	/ \ // 匹	1		

	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助				
_	車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助				
	単何] こ・・ソド间(2/1/99)	□ 部分介助	□ 全介助				
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能				
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助				
H-7TAIND	上活状况 生活状况 歩行		□ 部分介助/不可能				
上活状况 			□ 軽度介助				
	3/11	□ 部分介助	□ 全介助				
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能				
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助				
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助				
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助				
医療機関名							
指定医番号							
医療機関所在地	1						
電話番号			*ハイフンを除き、左詰めで記入				
医師の氏名			印				
			※自筆または押印のこと				
記載年月日	西暦	年月月	F				
診断年月日	西曆	年 月 月	日				

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、
- 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12日健発 1112 第 1 号健康局長通知)を参照の上、ご記入ください。
- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。